ポイント③

各地区の地域づくり事業には、約３割の村民が参加に興味

各地区の地域づくり事業の参加意向についてたずねると、「関わりたい」「どちらかといえば関わりたい」の回答が、各年代とも合わせて約３割となっています。「わからない」との回答も各年代とも３割前後いることから、今後の住民の方々への理解の浸透により、参加意向が増える余地もあると考えられます。

○１５歳～３９歳の年代　上位３つ
- わからない　９２人（３５.９％）
- どちらかといえば関わりたい　５３人（２０.７％）
- 関わりたくない　３６人（１４.１％）

○４０歳～６４歳の年代　上位３つ
- わからない　１８４人（３０.１％）
- どちらかといえば関わりたい　１２３人（２０.１％）
- どちらかといえば関わりたくない　９８人（１６.０％）

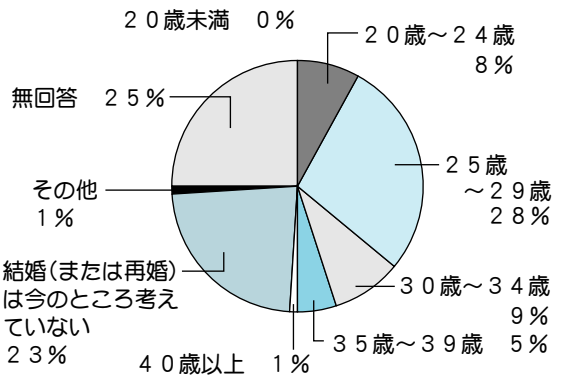
○６５歳以上の年代　上位３つ
- わからない　１５５人（２８.１％）
- どちらかといえば関わりたい　１０２人（１８.５％）
- 無回答　９８人（１７.８％）

ポイント④

独身者の約半数が結婚に前向きな回答

１５～３９歳のうち、現在結婚していない方に対する結婚（または再婚）に対する考えについての設問には、過半数の回答者が結婚について前向きな回答でした。また具体的な結婚の時期については２０代後半との回答が最も多く寄せられました。（表４）

関連して、結婚を考えた時に気になることについての設問には、「経済的なこと（挙式や新生活のための費用）」「学校や学業上の問題、職業や仕事上の問題」「育児環境のこと」の回答が他の回答項目と比べ多くなっており、こうした分野に対する支援が求められています。



▲ 表４　結婚の時期

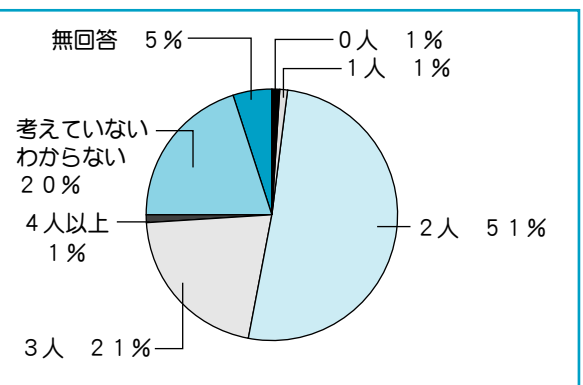
ポイント⑤

若い世代の多くが２人以上の子どもを希望

１５～３９歳の世代に対して、理想の子どもの人数についての設問には、「２人」との回答が約５０％と最も多く、次いで「３人」との回答が約２０％となっています。多くの方が２人目、３人目の子どもを希望していると考えられます。（表５）

関連して、子どもをもうける事を考えた時に気になることについての設問には、「子育てや教育にかかるお金」との回答が約７５％と他の回答項目とくらべても特に高く、出産・子育てにおける大きな課題と考えられます。

また、「保育所・幼稚園の体制」「子どもがのびのび育つ環境」との回答も、他の項目と比較して高く、育児環境のさらなる整備も求められています。



▲ 表５　理想の子どもの人数

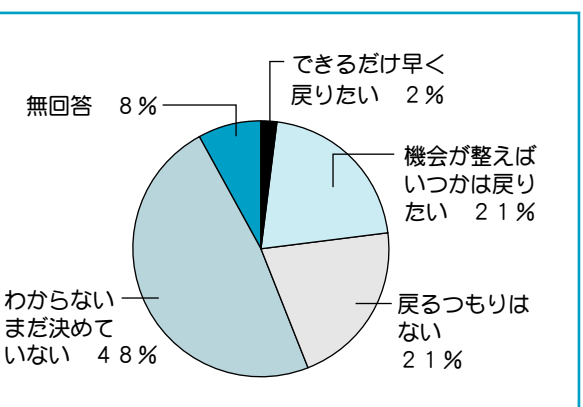
ポイント⑥

若い年代のUターン意向は２割強

１５～３９歳の年代のうち、東秩父村を離れる意向のある住民に将来的に地元へ戻りたいかについてたずねると「機会が整えばいつかは戻りたい」の回答が２１％､「できるだけ早く戻りたい」の回答と合わせると約２３％となっています。

また、「わからない、まだ決めていない」の回答は５割弱となっています。

Ｕターンをまだ決めていない回答も一定数あったことから、潜在的なUターン者も視野に入れた定住施策を行うことにより、若い年代の村外流出の緩和が期待できます。（表６）



▲ 表６　村へ戻る意志